

第2回 みなまた地域創生ビジョン研究会議事次第

日 時：平成28年1月22日（金）18時～20時

場 所：もやい館（水俣市総合もやい直しセンター）3階ホール

議事次第：

1. 開会

2. 議事

(1) 第1回の意見の概要報告について・・・資料2

(2) 水俣・芦北地域振興計画について・・・資料3

(3) 市民との新たな対話の場（フューチャーセッション）による
水俣の未来像の紹介について・・・・・・資料4

(4) 意見交換

3. 閉会

配付資料：

資料1 委員名簿

資料2 第1回の意見の概要

資料3 水俣・芦北地域振興計画について

資料4 フューチャーセッションによる水俣の未来像

参考資料1 研究内容の概要

参考資料2 研究会スケジュール

参考資料3 第6次水俣・芦北地域振興計画 基本構想編

参考資料4 第6次水俣・芦北地域振興計画 平成28年度実施計画編

参考資料5 フューチャーセッションの成果(第1回～15回)

みなまた地域創生ビジョン研究会 委員名簿

(50 音順、敬称略)

石原 明子 熊本大学大学院社会文化科学研究科准教授

植木 誠 早稲田大学パブリックサービス研究所招聘研究員

勢一 智子 西南学院大学法学部教授

永松 俊雄 崇城大学教授

深水 陽子 深水医院副院長

藤本 有希 一般社団法人ハートリープロジェクト ファウンダー

牧迫 飛雄馬 国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター
予防老年学研究部健康増進研究室長

松永 裕己 北九州市立大学大学院マネジメント研究科准教授

第1回の意見の概要

(1) 研究会の対象分野については、一点突破型で未来のビジョンを描き、そのビジョンの中で何か1つやるという形がよいのではないだろうか。

【永松座長】

- ・アメリカでは、地元の人と行政や関係者が、どのようにして協力し、未来をつくっていくかという未来思考である。
- ・全米で一番公害汚染の酷いまちが20年後ぐらいに全米で一番きれいなまちになり国連からも表彰された。過去の暗い歴史を乗り越えて、新しい歴史をつくるという形である。
- ・全員で自分のふるさとの明日を新しくつくっていくという視点で取り組んでいる地域が、復活というよりは新しく生まれかわって元気になっている。
- ・地域の衰退に歯止めをかけるためには、これまでやってきたことの延長線上では無理である。一点突破型だとか、どこもやっていないが水俣だったらやろうと思えばできるような提案など、国水研にはそういう進取の気性が必要だろう。

【石原委員】

- ・国の研究所の役割は3つあると思っている。
 1. 日本全国の事例や世界中の先進事例を集め、情報を整理して各市町村が選べるようにする。
 2. 水俣の取り組みの内外での位置づけを評価して出してあげる。
 3. 市ではできないこと、国の力を使えばできることを見極める。
- ・少子高齢化の中で地方社会がどう生き残っていくかということは世界でも初めての取り組みなので、新しく実験する必要もある。

【藤本委員】

- ・新しい実験というところのキーワードを念頭に置き、差別に苦しんだ方々の声を集めながら新しいものをつくり出し、それを外へ発信していくような提言ができると良い。

【松永委員】

- ・石原先生が言われた従来型の研究センター・研究所の役割はそうかもしれないが、そこにこだわる必要はない。地域の一つの主体として、地域にかかわっていく役割というのも十分あり得る。フェューチャーセッションを実施されているのはまさにその一つであり、非常に重要な活動である。
- ・水俣の将来が国の施策に振り回されすぎることなく、目標はある程度具体化したほうが良い。
例) 移住者を増やすようなことをやりたいのか、若者を増やすようなことをやりたいのか、それとも人口減少を受け入れながら何か別のビジョンをつくるのか、その辺をまず、ある程度出す必要がある。
- ・一点突破型で考えたほうが良い。水俣の未来のビジョンがあって、そのビジョンの中で何か1つやるという形。とがった形の提言が良い。

【植木委員】

- ・石原先生の3つのポイントは、これから議論していけばおさめられると思う。負の遺産をどのようにプラスにして新しいバリューをつくるかという案件である。
- ・我々がやろうとすることは、未来創生のシンクタンクとして一石を投じること。

(2) 情報発信については、過去のものをアピールするのではなく、広島のように新たなイメージを使ってアピールする方がいいのではないか。

【藤本委員】

- ・新しい実験というところのキーワードを念頭に置き、差別に苦しんだ方々の声を集約しながら新しいものをつくり出し、それを外へ発信していけるような提言ができると良い。
- ・大田区の小学校で、学校の先生も現在の情報を持っておらず、水俣が今どうなっているのか情報が伝わっていない。

【植木委員】

- ・未来新聞にデザインやコミュニケーションの要素が入ってくると、感動しやすく、見やすく、伝えやすいものになってくると思うので、未来創生のシンクタンクの基礎として、どのようなアクションをしていくかという議論をしていければ良い。
- ・原爆を落とされた広島市に対して、トップ・グラフィックデザイナーたちが毎年、平和アピールズというポスターを1作品つくって市長に贈呈し、原爆を忘れないという活動をやっている。
- ・水俣においても、過去のものをアピールするのではなく、そのように新たなイメージをビジュアルコミュニケーションやビジュアルランゲージのようなものを使ってアピールしていくことができると思われる。
- ・水俣は環境が良いから洗濯物をたくさん干していることをPRする。干し方もアートみたいな干し方にし、空気もこれだけきれいだというメッセージの伝え方もあるのではないか。

(3) フューチャーセッションについては、声なき声を拾い、市民の気持ちを高めて共有する方策として重要な活動と思われる。今後、未来新聞にデザイン等の要素を入れて、市民に伝わりやすいものにするのがいいのではないか。

【石原委員】

- ・水俣の将来につながるフューチャーセッションは、声にならない声、話せない声をどう拾っていくかが非常に重要。

【松永委員】

- ・従来型の研究センターにこだわる必要はなく、地域にどうかかわっていくかということ。その中の1つとしてフューチャーセッションは重要な活動だと思う。
- ・実際に活動しながら、それを政策や提言に結びつけて、なおかつもう一回それをフューチャーセッションに戻すというサイクルができると良い。

【植木委員】

- ・よそにあるが水俣は違うということをどれだけ市民の人に再認識してもらうか。そういう気持ちをもっと高めもらう方策が、市民と対話するフューチャーセッションであり、セッション自体のbehavior（性質、作用）であり、さらに未来新聞においてデザインやコミュニケーションの要素が入ってくると、もっと感動しやすく、見やすく、伝えやすいものになってくると思う。

(4) 未来のビジョンのコンセプトについては、ロケーションの美しさを出すことプラス、健康という面で問題を抱えているまちなので、美しい環境と健康で、「美健」や「美」というのはどうだろうか。

また、水俣モデルのようなパイロット的な取組みができたらいいのではないだろうか。

【植木委員】

・ロケーションの美しさを出すことプラス、健康という面で医療的な課題を抱えているので、健康に対しても真正面で取り組むような提言をする。

例えば、美しい部分と健康で、「美健」というのはどうだろうか。

新・水俣モデルのようなパイロット的なものができたら良い。

・市民、小・中・高・大学生がどういった市のイメージを持っているか、言葉を全部出してもらって、それを聞いてみたい。

【永松座長】

・コンセプトは美と美しさと言うことだが、それは良い。ごみの分別を町内ごとにやるよう 「〇〇体操」 や、「〇〇〇」 をしようと、そういう形で美しさ、美を追求していく。

・体の中のごみをちょっと分別していこう、あんまりたくさんごみをためないようにという目標を掲げる。

【藤本委員】

・子供のときから広い意味での教育もきちんと体験しながら、健康にも気をつけていくということに関しては、私は現実的に有効ではないかと思う。

【松永委員】

・いろいろとキーワードが出たが、できたらそれが市民の中から出てくると良い。

水俣・芦北地域振興計画について

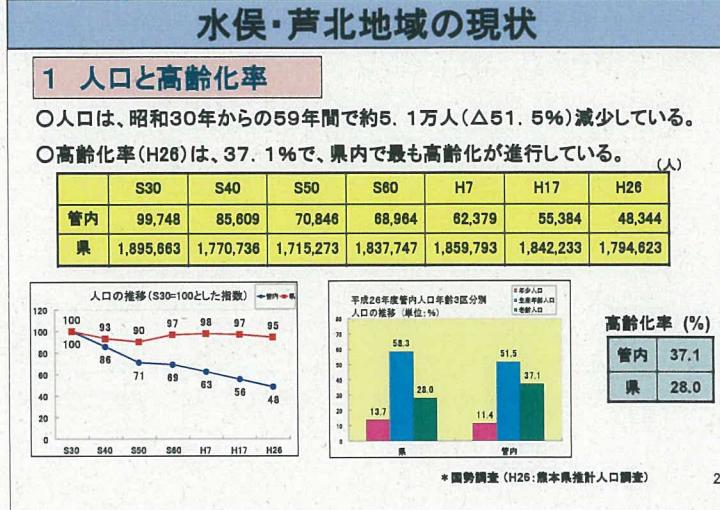
水俣・芦北地域の再生と振興を目指して



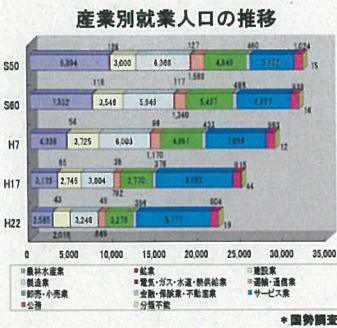
平成28年1月22日

熊本県企画振興部地域振興課

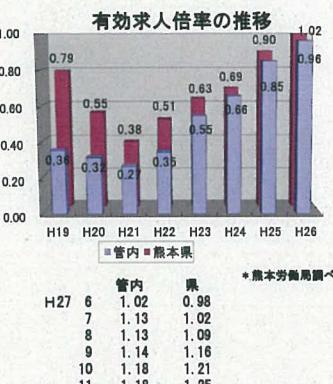
1



2 産業と雇用情勢



○人口減少に伴い就業人口も減少している。特に農林水産業、製造業の就業人口の減少が著しい。



○有効求人倍率は、0.3前後で厳しい状況が続いているが、H23年度以降改善傾向にある。

3 農業の状況

○総農家一戸当たりの経営耕地面積は、県内の半分程度と狭い。
○農業従事者の高齢化が進み、耕作放棄地率が高い。
○生産量では、柑橘類の県内シェアが高く、地域の基幹作物となっている。

| 品目 | (出典) | 管内 | 県 | 県内 シェア(%) |
|----|-------|---------|-----------|-----------------|
| | | 耕地面積(a) | 耕作放棄地率(%) | 農業者の 高齢化率(%) |
| 管内 | 56.8 | 31 | 64.9 | |
| 県 | 116.5 | 12.5 | 51.3 | |

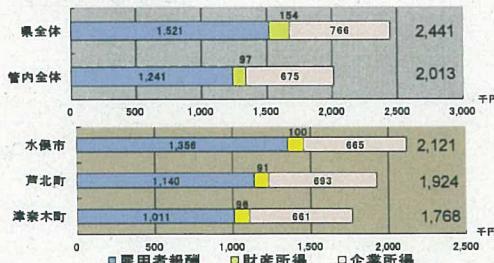
※基幹的農業者に占める65才以上の割合

* 2010年農林業センサス

* 1 九州農政局統計情報部「耕地及び主要農作物町村別データ」(H25)
「園芸工芸栽培作物統計(熊本県)」(H25)
* 2 熊本県農林水産部調べ(H25)
* 3 熊本県畜産統計(H25)
* 4 熊本県果樹振興実績書(H25)

4 所得水準

一人当たり市町村民所得



○人口一人当たりの市町村民所得は2,013千円で、県全体(2,441千円)の約82.5%の水準。

水俣・芦北地域振興計画のなりたち

公害の原点「水俣病」の発生

自然環境の汚染 優れた健康被害 地域の社会・経済基盤の脆弱 地域の活力の疲弊

昭和52年 県から国に対して「水俣病対策に関する要望」を提出

昭和53年6月
閣議了解

水俣・芦北地域の振興については
「熊本県の具体的提案を待つて対処する。」

水俣・芦北地域振興計画(第一次)を策定
これを「熊本県の具体的提案」として国に提案

5

6

水俣・芦北地域振興計画の歩み

第一次水俣・芦北地域振興計画（S54～S60）

主な事業

「環境復元への取組み」

- ・水俣湾公害防止事業による水俣湾の埋立（～二次）
- ・「芦北地区」広域営農団地農道整備（～五次）
- ・水俣川広域河川改修（～五次）
- ・緑と彫刻のある街づくり（～二次）



水俣湾の埋立

第二次水俣・芦北地域振興計画（S61～H7）

主な事業

「高次な地域イメージの確立」

- ・南九州西回り自動車道の整備（～五次）
- ・シーサイドロードの整備（～五次）
- ・県立あしきた青少年の家建設（～三次）
- ・水俣・芦北地域振興財團の助成による地域振興に関する取組みへの支援（～五次）



南九州西回り自動車道の整備

第三次水俣・芦北地域振興計画（H8～H17）

主な事業

「水俣・芦北地域の活力の再生と創造」

- ・九州新幹線新水俣駅の整備
- ・水俣産業団地（水俣エコタウン）の整備（～五次）
- ・水俣・芦北地区中山間地域総合整備（～五次）
- ・つなぎ美術館の整備



7

水俣・芦北地域振興計画の歩み

第四次水俣・芦北地域振興計画（H18～H22）

主な事業

「多様な環境と共生し、持続的に発展する地域づくり」

- ・水俣市の環境モデル都市への認定（ゴミの22種類別りや環境ISO等の取組み）
- ・福浜漁港、牛の水漁港等の整備（～五次）
- ・「パーク・ミュージアム事業による交流人口の拡大と観光振興（～五次）



福浜漁港の整備

第五次水俣・芦北地域振興計画（H23～H27）

主な事業

「環境への負荷が少ない持続的に発展する地域づくり」

- ・水俣・芦北地域雇用創造協議会による雇用創出の取組み
- ・胎児性水俣病患者の家族向け入居施設の整備・運営
- ・水銀に関する水俣条約外交会議・全国豊かな海づくり大会の開催



水俣・芦北地域雇用創造協議会の取組み

8

第五次計画までの取組みを踏まえた課題

昭和54年度以降、五次・37年間にわたる水俣・芦北地域振興計画に基づき取り組んできたところ

平成28年5月には
水俣病公式確認60年を経過

このような中で、以下のような課題が残っている

- (1) 歯止めの掛からない人口減少
(S30→H26 ▲5.1万人(▲51.5%) [県 ▲5.3%])
- (2) 伸び悩む市町村内総生産、市町村民所得
(一人当たり市町村民所得 2,013千円 [県平均 2,441千円])
- (3) 農林水産業における生産者の所得向上、担い手確保

| |
|----------------------------------|
| 農家一戸当たり経営耕地面積 56.9a [県平均 116.5a] |
| 耕作放棄率 31% [県平均 12.5%] |
- (4) 日帰り客は飛躍的に増加するも宿泊客は伸び悩み

| |
|------------------------|
| 日帰り客数 : H20→H25 +75.8% |
| 宿泊客数 : H20→H25 +1.2% |

(5) 南九州西回り自動車道をはじめとする社会基盤の整備促進

南九州西回り自動車道について、国道3号以外の災害時代代替路の確保、物流の効率化、観光地へのアクセス強化等の必要性

(6) 胎児性水俣病患者等を含む障がい者やその家族の高齢化、地域のニーズに応じた子育て支援

(加速する少子高齢化と人口減少、住民同士が支え合う仕組みづくりの必要性等)

(7) 医療従事者の確保、在宅医療・介護サービス提供体制の整備

(へき地診療所における非常勤医師による診療、訪問看護師の不足等)

(8) 水俣病の歴史と教訓、環境の大切さの啓発活動の継続

(水俣病の教訓を風化させることなく後世に語り継ぐ必要)

○残された課題の解決

○今後の社会情勢等の変化を踏まえた取組みの推進

○平成26年7月、「第六次水俣・芦北地域振興計画」を策定することを決定。

○国の支援も最大限に活用しながら、県と市町が一体となって、引き続き当地域の振興を図っていくこととした。

10

第六次水俣・芦北地域振興計画

基本理念

第五次計画

環境への負荷が少ない持続的に発展する地域づくり

>残された課題の解決
>社会情勢等の変化を踏まえた取組推進

第六次計画においては

○環境に軸足を置いた産業展開により、地域経済が発展し、それが地域・社会全体の環境向上に繋がる好循環を実現

○将来にわたり「地域の活力」を維持する

○地域の絆・家族の絆を取り戻す
→ 都会を中心とした従来の価値観では測れない「新しい豊かさ」を手に入れる

住みよい郷土（地域社会）

基本理念

環境と経済の好循環を実現し、『地域の活力と新しい豊かさ』を生み出す地域社会づくり

目標

○基本理念を実現するため、地方創生の動きをチャンスと捉え、「まち・ひと・しごと」（「産業の振興」「地域・家族の絆の再生」など）に対応する取組みを掲げ、目標を設定。

しごと

目標1 高い付加価値を生む産業づくり

ひと

目標2 地域を担う人材づくり

まち

目標3 地域で暮らす安心づくり

目標4 地域の活性化を支えるまちづくり

11

12

施 策 の 展 開

目標1 高い付加価値を生む産業づくり

- (1)環境関連産業をはじめとする地域産業のさらなる振興
- (2)稼げる農林水産業の推進
- (3)異業種間の連携強化
- (4)環境先進地や美しい自然環境、特色ある食などを活かした観光振興

目標2 地域を担う人材づくり

- (1)産業や地域づくりを担う人材の育成・確保
- (2)水俣病の歴史と教訓、環境の大切さを学び、行動する人材の育成・確保

13

施 策 の 展 開

目標3 地域で暮らす安心づくり

- (1)水俣病被害者をはじめ誰もがいきいきと安心して暮らし続けていける地域づくり
- (2)安心して子どもを生み育てられる地域づくり

目標4 地域の活性化を支えるまちづくり

- (1)生活行動や産業活動を広げる高規格幹線道路の整備促進
- (2)地域の交通網・情報通信基盤の整備
- (3)住環境等の生活基盤の整備
- (4)防災・県土保全
- (5)地域コミュニティの強化と県南地域をはじめとする近隣地域との連携強化
- (6)環境分野を中心とした知の集積拠点づくり

14

計 画 の 推 進 体 制

水俣・芦北地域振興に関する各省連絡会議
内閣官房、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省
経済産業省、総務省、環境省、国土交通省

計画の提案

県庁

- ◇ 水俣・芦北地域振興推進委員会
委員長：副知事
委員：教育長
知事公室長
各部長
企業局長

地元

- ◇ 水俣・芦北地域振興推進協議会
会長：水俣市長
理事：芦北町長、津奈木町長
水俣市議会議長
芦北町議会議長
津奈木町議会議長
芦北地域振興局長

連携

15

16

平成28年度実施計画編の構成

| 目標1 高い付加価値を生む産業づくり | 42事業 |
|---|------|
| (1)環境関連産業をはじめとする地域産業のさらなる振興 | 8事業 |
| (2)稼げる農林水産業の推進 | 18事業 |
| (3)異業種間の連携強化 | 2事業 |
| (4)環境先進地や美しい自然環境、特色ある食などを活かした観光振興 | 14事業 |
| 目標2 地域を担う人材づくり | 12事業 |
| (1)産業や地域づくりを担う人材の育成・確保 | 4事業 |
| (2)水俣病の歴史と教訓、環境の大切さを学び、行動する人材の育成・確保 | 8事業 |
| 目標3 地域で暮らす安心づくり | 8事業 |
| (1)水俣病被害者をはじめ誰もがいきいきと安心して暮らし続けていける地域づくり | 6事業 |
| (2)安心して子どもを生み育てられる地域づくり | 2事業 |
| 目標4 地域の活性化を支えるまちづくり | 29事業 |
| (1)生活行動や産業活動を広げる高規格幹線道路の整備促進 | 3事業 |
| (2)地域の交通網・情報通信基盤の整備 | 7事業 |
| (3)住環境等の生活基盤の整備 | 9事業 |
| (4)防災・県土保全 | 7事業 |
| (5)地域コミュニティの強化と県南地域をはじめとする近隣地域との連携強化 | 2事業 |
| (6)環境分野を中心とした知の集積拠点づくり | 1事業 |
| 合計 | 91事業 |

目標1 高い付加価値を生む産業づくり

- (1)環境関連産業をはじめとする地域産業のさらなる振興
 - ① 地域産業の振興
 - ② 環境・新エネルギー・関連産業等の企業立地促進
 - ③ 再生可能エネルギーへの導入促進
 - ④ 創業者や事業承継・経営力強化等に取り組む小規模企業等に対する支援

- ⑥ 水俣市産業振興戦略2015の推進
- 【新】⑦ 水俣川河口臨海部振興構造(仮称)の推進
- ⑧ 新特産品「温泉塩」フレーバー構築推進事業

ii 稼げる農林水産業の推進

- i 農業
 - 【新】① 農業協同組合の農業参入に対する支援
 - ② 担い手への農地集約・耕作放棄地の解消
 - ③ 中山間地域総合整備事業(七浦地区、芦北地区)
 - ④ 中山間地域等直接支払交付金事業
 - ⑤ 農業基盤整備促進事業(芦北地区)
 - ⑥ 環境に配慮した農業の推進(ブランド化の確立)
 - ⑦ 「安全・安心な食と農」確立事業
 - ⑧ 野菜振興事業
 - 【新】⑨ 鳥獣被害の防止に向けた取組み

- ii 林業
 - 【新】① 森林の集約化対策の推進
 - ② 森林環境保全整備事業

iii 水産業

- ① 水俣・芦北地域の豊かな海づくりの取組み
- ② 海藻の森づくり
- ③ アマモ拂再生プロジェクト
- ④ クマモ・オイスター及びカキの養殖試験・販売の推進
- 【新】⑤ 渔港施設機能強化事業
- ⑥ 福浦漁港漁村再生事業
- ⑦ 水産物供給基盤整備保全事業

iv 異業種間の連携強化

- 【新】① くまもと県南フードパレード構想の推進
- ② 農商工連携の推進

v 地域先進地や美しい自然環境、特色ある食などを活かした観光振興

- ① 広域観光の推進
- ② 低炭素型観光の推進
- ③ 水俣・芦北地域環境フィールドミュージアム事業
- ④ 水俣市観光振興計画による観光推進(湯の児)
- ⑤ 湯の児観光振興計画による観光推進
- ⑥ 肥薩おれんじ鉄道駅整備事業

- 【新】⑦ 水俣観光誘客事業

- 【新】⑧ 道の駅みなと交流人口増加対策

- ⑨ 地域の特色を活かした地域拠点づくり事業

- ⑩ 旧国民年金健康保養センター有効活用事業

- ⑪ 芦北海滨総合公園長寿命化事業

- ⑫ 無鶴崎公園整備事業

- 【新】⑬ 赤堀小学校跡地利活用推進事業

- ⑭ あしきた青少年の家における自然体験活動の推進

18

目標2 地域を担う人材づくり

- (1) 環境関連産業をはじめとする地域産業のさらなる振興
【新】①「ヨコカフェ・プランチ」を核とした地域の就労支援体制の強化
【新】② 小中学生を対象とした職業体験の推進
【新】③ 農業者に新たな学びの場を提供～くまと農業アカデミー～
【新】④ 移住定住の促進
- (2) 水俣病の歴史と教訓、環境の大切さを学び、行動する人材の育成・確保
① 環境センター環境学習促進事業
② 水俣病の歴史と教訓や環境に関する情報の発信
③ 次世代へつなぐ水俣病資料館ルネサンス事業
④ 「水俣に学ぶ記念後子教室」事業
⑤ 水郷フリー社会に向けた取組み
⑥ 環境モデル都市の推進
⑦ みなまた環境大学
⑧ 海洋センター事業

目標3 地域で暮らす安心づくり

- (1) 水俣病被害者をはじめ誰もがいきいきと安心して暮らしていく地域づくり
① 水俣・芦北地域における保健医療福祉の向上
② 地域医療体制の整備
③ 在宅医療提供体制の整備、医療と介護の連携による地域包括ケアの推進
【新】④ 高齢性水俣病患者の高齢化に伴う明水園個室化施設整備事業
⑤ 水俣病犠牲者慰靈式
⑥ もやい音楽祭
- (2) 安心して子どもを生み育てられる地域づくり
【新】① 安心して子どもを生み育てられる地域づくり
【新】② 芦北町社会教育ｾﾝﾀｰ及び佐敷城跡周辺整備事業

19

目標4 地域の活性化を支えるまちづくり

- (1) 生活行動や産業活動を広げる高規格幹線道路の整備促進
① 南九州西回り自動車道整備
② 南九州西回り自動車道アクセス道路整備
ア 芦北町道賀場芦北道路改良
イ 笹インター間道道路改良
- (2) 地域の交通網・情報通信基盤の整備
① ジーサイドロードの整備
・ 主要地方道水俣田蒲線
・ 一般県道二見田蒲線
② 佐敷港港湾整備
【新】③ 水俣港港湾整備
④ 道の駅みなまた及び周辺施設の活性化
⑤ 並行在来線対策事業
（肥薩おれんじ鉄道沿線活性化協議会事業）
⑥ 生活交通対策事業
【新】⑦ 光プロードバンド基盤整備事業
- (3) 住環境等の整備
① 水俣広域公園の改修整備事業
② 公営住宅建設事業（水俣市、攸ノ内団地）
③ 公営住宅改修事業（水俣市）
④ 公営住宅建設、改修事業（津奈木町）
⑤ 汽化槽設置整備事業
⑥ 公共下水道事業
⑦ 水俣市簡易水道等統合施設整備事業
⑧ 津奈木町簡易水道統合事業
⑨ ごみ処理場解体、ストックヤード新設事業
- (4) 防災・農土保全
① 治山事業の推進
② 砂防・急傾斜地崩壊・地すべり対策・総合流域防災（基盤調査）事業の推進
③ 河川改修事業・海岸保全事業の推進
④ 道路防災対策
- 【新】⑤ 地域防災力の向上
【新】⑥ 消防本部車両更新事業
【新】⑦ 芦北消防署新庁舎建設事業
- (5) 地域コミュニティの強化と県南地域をはじめとする近隣地域との連携
【新】① 地域が主体となった地域づくりの支援
② 美術館を活用した参加型アートプロジェクト
- (6) 環境分野を中心とした知の集積拠点づくり
① 水俣環境アカデミー機構（仮称）の創設

20

目標1

高い付加価値を生む産業づくり

21

1 地域産業の振興

計画書P4 1 高い付加価値を生む産業づくり (1)環境関連産業をはじめとする地域産業のさらなる振興 ①

「水俣・芦北地域雇用創造協議会」を中心に、地域一体となって第一次産業の振興、6次産業化、観光振興等、総合的な産業振興に取り組む。

- 地域内外のネットワークを生かした地域事業者の支援

- ・先駆的取組みの磨き上げ
- ・環境配慮型農業の推進
- ・水産物のブランド化の推進 等

- 求職者や地域事業者に対するセミナーの開催等による人材育成・確保

| | |
|------|------------------------|
| 事業主体 | 県、水俣市、芦北町、津奈木町、地域経済団体等 |
| 事業期間 | 平成22年度～平成32年度 |
| 関係市町 | 水俣市、芦北町、津奈木町 |



技能習得セミナ-22

2 中山間地域総合整備事業(七浦地区・芦水地区)

計画書P11 1 高い付加価値を生む産業づくり (2) 繋げる農林水産業の推進 ① 農業 ③

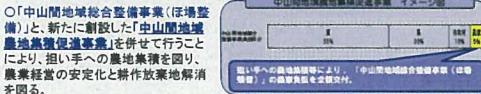
基盤整備の実施により、農作業の効率化、急傾斜解消、用水確保等を行い、農業経営の安定化を図る。また、基盤整備（ほ場整備）と併せて農地集積を推進し、狙い手育成や耕作放棄地の減少を図る。



現状と課題

○傾斜地が多いなど地理的条件から、生産基盤の整備が遅れている。
○狙い手の減少や耕作者の高齢化により農地の耕作放棄地が増加している。

「中山間地域農地集積促進事業」をほ場整備と併せて実施



23

3 水俣川河口臨海部振興構想（仮称）の推進

計画書P8 1 高い付加価値を生む産業づくり (1)環境関連産業をはじめとする地域産業のさらなる振興 ⑥

丸島漁港から水俣川河口にいたる臨海部において、丸島漁港を中心とした水産業の振興、水俣産業団地における環境関連産業育成や新事業の創出、必要なアクセス道路の整備と改善（安全策の確保）、施設整備計画と活用策を一括して検討することで、同地域への産業集積を図り、地域経済の活性化を目指す。

- 丸島漁港振興構想の策定
- 水俣産業団地振興構想の策定
- 再生可能エネルギー事業の誘致
- アクセス道路改修構想の策定

| | |
|------|---------|
| 事業主体 | 水俣市 |
| 事業期間 | 平成27年度～ |
| 関係市町 | 水俣市 |

丸島漁港



丸島漁港と水俣産業団地周辺

4 赤崎小学校跡地利活用推進事業

計画書P37 ① 高い付加価値を生む産業づくり
(4)環境先進地や美しい自然環境、特色ある食などを活かした観光振興 ⑬

旧赤崎小学校の跡地を地域住民にとって利用しやすく、また、豊かな自然を生かして観光客も訪れたくなる魅力的な公共空間とすることを目的に、活用策及び整備計画に関する基本計画を策定し整備を実施する。

● 基本構想の策定、設計、施設整備

| | |
|------|---------------|
| 事業主体 | 津奈木町 |
| 事業期間 | 平成27年度～平成29年度 |
| 関係市町 | 津奈木町 |



25

5 地域の特色を活かした地域拠点づくり事業

計画書P34 ① 高い付加価値を生む産業づくり
(4)環境先進地や美しい自然環境、特色ある食などを活かした観光振興 ⑨

計石港に隣接する旧計石小学校校舎を、観光うたせ船の荒天時に対応する施設として活用するとともに、近隣に直売所や加工施設等についても一体的に整備することで、地域活性化、うたせ船の存続や漁業関係者の安定経営につなげる。

- 拠点施設の整備（体験学習施設、加工施設、直売所等）
- 体験・学習プログラムの整備

事業主体 芦北町

事業期間 平成24年度～

関係市町 芦北町



不知火海のシンボル「うたせ船」



旧計石小学校

26

目標2

地域を担う人材づくり

27

6 移住定住の促進

計画書P40 ② 地域を担う人材づくり (1)産業や地域づくりを担う人材の育成・確保 ④

平成27年3月に設立した「くまもと移住定住促進戦略推進協議会」を中心に、住居・就業情報の提供や熊本の魅力発信等の移住定住施策を、関係機関、市町村等と連携して推進する。

また、市町においては、相談・支援体制の整備をはじめ地域の魅力を活かした移住定住施策を推進する。

- 移住定住に関する相談員、アドバイザーの配置、首都圏における相談会・セミナーの開催、ポータルサイトによる情報発信等

- 移住定住に関する受入体制の整備、空き家等を利活用した移住定住の推進



移住相談会

事業主体 県、水俣市、芦北町、津奈木町

事業期間 平成27年度～

関係市町 水俣市、芦北町、津奈木町



熊本県移住・定住ポータルサイト

7 水銀フリー社会に向けた取組み

計画書P46 ② 地域を担う人材づくり (1)水俣病の歴史と教訓、環境の大切さを学び、行動する人材の育成・確保 ⑤

平成25年10月に開催された「水銀に関する水俣条約外交会議」において「水俣条約」が採択されたことを受け、水銀が含まれる製品をできる限り使わない、使用済みの製品を適正に廃棄する「水銀フリー社会」の実現に向けて先導的に取り組む。

- 水銀含有廃棄物を適正に分別・收集・運搬及び処分する仕組みの構築
- 国内外における普及啓発・情報発信（水銀フリーに関する広報、研修会開催等）
- 海外の水銀専門家の育成支援（熊本県立大学と国立水俣病総合研究センターの連携大学院の留学生を対象とした奨学金）

| | |
|------|------------------------|
| 事業主体 | 県、国立水俣病総合研究センター、熊本県立大学 |
| 事業期間 | 平成26年度～ |
| 関係市町 | 水俣市、芦北町、津奈木町 |



フューチャーセッションによる水俣の未来像

ふれあいセンターでのアイデア

シェアタウン

自由な働き方

新港まつり

★ぐるぐるタウン(参5-P14上)

+ みなカフェ広場(参5-P6下)

☺かあちゃんの味自慢大会とPR
(参5-P14下)

+ ふ・ふ会+夢語り場8コマ劇場(参5-P8上)

(パパ・ママ向け交流会)+(夢に向かってスポンサー やパートナーを獲得できる場)

延べ41人

子どもセンターでのアイデア

産業団地まつりでのアイデア

☺遊びコーディネーター
(参5-P6下)★水俣まるごと映画村
(参5-P13上)♪いなか予備校
(山間部の暮らし体験)(参5-P8下)★なんでもありの星観測所
(参5-P13下)

子育て広場 延べ20人

228人+9人(高校生)

その他のアイデア

○○学習村

フォトスポット

一息スペース

☺市民の中心プラザ(参5-P5上)

♪オプション付き空家(参5-P2下,3下)

延べ29人

★: ビジョン

☺: 健康

合計 327人

♪: 環境

+ : 情報

(別途 アイデアボード2ヶ所)

開催実績

| | 日時 | 場所 | テーマ | 人 | 成果 | 未来新聞の大見出し |
|-----|--------------|-----------|-------------------|--------------|---------|-------------------------------------|
| 第1回 | 2014.12.7 | 喫茶店 | 10年後の水俣 | 6人 | 未来新聞 | 魔法がかかる街 超大型レジャー施設誕生 |
| 第2回 | 2015.2.11 | もやい館 | 10年後の水俣でのくらし | 9人 | 未来新聞 | 四大イベント開催 水俣にぎわい創出 高速道路効果で経済発展 |
| 第3回 | 2015.5.30 | 情報センター | 2025年水俣の未来 | 6人 | 未来新聞 | 10年で若者十倍 AZ80歳求人 |
| 第4回 | 2015.6.6 | 国水研 | 2025年水俣での環境への取組み | 8人 | 未来レター | 東京のタチウオさんへ |
| 第5回 | 2015.6.27 AM | 市ふれあいセンター | 10年後のつながり | 8人 別途見学2人 | 未来新聞 | まちも心も段差のないまち フレンドリータウンMinamata |
| 第6回 | 2015.6.27 PM | 市子どもセンター | 10年後の子どもの遊び場 | 8人 | 口頭発表 | 特色のある遊び場付高齢者施設 |
| 第7回 | 2015.7.25 | 市ふれあいセンター | 水俣の未来を考える：遊びや学びから | 5人 | 未来新聞 | シェアタウンみなまた |
| 第8回 | 2015.8.29 AM | 市ふれあいセンター | 地域×交流サロン×私たちの可能性 | 4人 | 未来新聞 | 趣味見せよう会 |
| 第9回 | 2015.8.29 PM | 市子どもセンター | 子どもにやさしいまち | 8人 | 未来のタウン紙 | 田舎予備校開校 子ども主体のまつり |

| | | | | | | |
|-----|------------|-----------|-------------------------|---------------|-------|---|
| 10回 | 2015.10.3 | 市ふれあいセンター | 新たなライフスタイルを求めて：自分時間 | 7人 | 将来の抱負 | ・当たり前のぜいたくな日常 ・季節を感じ色々な所で色々な人と交流 ・四季のある読書山 ・幸せな生活 ・家族と世界中どこへでも… ・海の見える家で詩を書く ・ブラジルの地でハイテンション年越し |
| 11回 | 2015.10.31 | 市ふれあいセンター | 新たな地域社会を求めて：シェアタウン | 7人 | 未来新聞 | 水俣はぐるぐるタウン Family Town みなまた |
| 12回 | 2015.10.31 | 市子どもセンター | 新たな地域社会を求めて：フレンドリータウン | 4人 | 未来新聞 | ・夜も開放、子育て広場！ ママ友!!パパ友!!集まれ♪ |
| 13回 | 2015.11.14 | 産業団地 | 10年先の産業団地にこんな場所あつたらいいな！ | 9人 来場者228人 | 未来新聞 | ・水俣映画村誕生！ ・星ピヨコも待っている!!何でもありの観測所 |
| 14回 | 2015.11.28 | 市ふれあいセンター | 10年先の水俣のまちのキャッチフレーズをつける | 5人 | 未来新聞 | ・ぐるぐるタウン誕生！ |
| 15回 | 2015.12.19 | 市ふれあいセンター | 10年先の水俣のまちのキャッチフレーズをつける | 5人 | 未来新聞 | ・ハートキャッチ出愛のまちみなまた |